

2007 年度

科目名 障害児指導法演習	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 小田 浩伸
授業テーマ 障害のある子どもの実態把握の仕方、個別の支援計画の作成、具体的な指導方法について学ぶ		
授業の概要と目標 知的障害、脳性マヒ、発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）等の子どもとの関わりやふれあいを通して、個別の支援計画の立て方や指導・支援の方法を実践的に学ぶこと、及び、障害のある子どもの保護者の悩みや心情等を理解することが、この授業（演習）のねらいである。今後の特別支援教育（保育）の実践に役立つことを期待している。 * 本科目は 木曜4限・5限の連続授業です。		
評価方法 出席状況、実践実習に参加したときの観察記録、及び、レポート等により総合的に評価する。		
テキスト 随時プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要に応じて適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. オリエンテーション ①本授業（実践実習）の意義について ②授業の進め方・スケジュールについて等 ③授業に参加する上での留意事項等 2. 指導・支援の活動プログラム ①個別の支援計画の作成 ②個別での課題 ③集団での課題学習 ④支援計画に基づく指導・支援の実践 ⑤保護者との話し合い ⑥事例研究（カンファレンス） 3. 指導・支援の実習内容（例） ①行動支援のアプローチ（問題行動の理解と支援） ②ことばの指導（発音指導等） ③コミュニケーションの指導（視覚支援プログラム） ④心身のリラクセーションの指導（動作指導、リラクセーション技法） ⑤教科の基礎学習（国語、算数の基礎学習等） ⑥教材・教具の作成（スケジュール表、手順表等の作成） 4. 事例研究（カンファレンス）について ①子どもの様子を詳細に報告する（事実と推測を分けて報告の仕方を学ぶ） ②個別の支援計画を作成し、計画－実践－評価の観点で流れを考える ③ディスカッションを通して、子どもの見方や指導内容のレパートリーを広げる ④次回の課題と準備について確認する 5. まとめ（個別の支援計画 Plan－Do－See について） ①子どもとの関わりで学んだこと ②保護者との情報交換の場で学んだこと ③個に応じた指導・支援の在り方について		